

# 吹田民主商工会 いんぷお め〜しよん

吹田市川園町20-1  
TEL (06) 633833-2211  
FAX (06) 633822-81190  
http://www.suita-minsyou.com  
suta-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の  
昼2時・夜7時  
なんでも相談会

## 吹田民商50周年記念行事 バスツアー行ってきました

4月7日(日)お天気を心配しながら34名が参加しました。

出発前に日本共産党府会議員の曾呂利さんと石川さんが見送りに来られました。曾呂利さんは「いつも民商のバスツアーには参加させてもらっていたが、今日は予定が入っているので行けなくて残念です。今日は是非勉強して楽しんできてください。」と挨拶され見送りを受けました。バスの中で共済部員月田さんの司会で村上副会長と実行委員長桑島さんが挨拶し、参加者の自己紹介を行いました。

「稲むらの火の館」は3・11東日本大震災後津波被害が甚大であったために各地から見学者が訪れている場所です。江戸時代1854年に大地震が発生し、紀伊半島一帯を大津波が襲いました。浜口梧陵が稲むらに火を放ち、火を目印に村人を誘導して、村人を助けたそうです。故郷復興のために私財を投げ防波堤を築造し、後の津波被害を最小限に抑えました。館は記念館と津波教育センターとして、災害から大切な命やくらしを守ることを学習する場です。

「広川町風力発電所」は町職員の方が来て説明してくれました。町所有の



風力は1機のみで最大毎時1500kW発電し500世帯の電力使用に相当していて、今現在は関西電力に売電しているとのこと。参加者からは「建設費用はどうしたか」「低周波の苦情はないか」「採算が取れているのか」「維持管理費はいくらぐらいか」「当初の設置は住民からの要望か、行政側か」といろいろ質問が出されました。職員の方が質問にも丁寧に答えてくれました。

黒潮市場で昼食と買い物をし、酒蔵を見学して帰路に着きました。

参加された方から感想を聞きました。  
中央支部 荒谷さん  
稲むらの館良かった。昔の金持ちは偉い、地域発展のために私財を投じている。今の金持ちに、つめのあか飲みたい。

片山支部 田原益子さん  
和歌山良いところ多い。最高

吹南支部 高宮さん  
「稲むらの館」津波8メートルの高さを実感する体験した。実際の波は30メートルぐらい。泉町に住んでい

千里山 辻さん  
るが、神崎川の川の水が津波で来るのが心配。

たくさん体験できてよかった。水槽の津波や3D画面の津波怖い。吹田に津波来ないと思っていた。吹田にも来ると実感した。行政動かして、防災対策させないといけない。



お買い物は地元の市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともに!